

日本共産党大津市会報告

2008年1月号
発行 日本共産党大津市会議員団
大津市西ノ庄5番16-1 TEL.525-1500



迎春

くらし・平和を大切に 市民のみなさんと力を合わせます

インド洋からの自衛隊の撤退や薬害肝炎被害者への一律補償など、国民の世論と運動が政治の流れを変えはじめています。県政・市政でも、新幹線新駅の中止や介護用ベッドへの補助実現など住民の願いが政治を動かす状況が生まれています。今年はこの流れをさらに大きくして、自民党政治に変わる新しい政治を拓く年に、日本共産党大津市議団は、6名の議員で今年の展望を語り合いました。

市民の声を生かし、 市民生活優先の政治へ

八木 昨年は県・市議選挙で日本共産党が前進し、参議院選挙での自民・公明の敗退、そして新幹線新駅中止など、「ムダづかいや弱いものいじめの政治はやめてほしい」という声が、政治を動かした年だったと思います。今年は市長選挙につきつき総選挙も予想されていますが、増税や年間一億円もの福祉の切り下げ・ゴミ有料化など市民負担を押しつけるのでなく、いのちと暮らしを大切に政治を大きく前進させたいと思います。

石黒 障がい者や高齢者が安心して暮らせるのかということも大切だと思います。たとえば自立支援法の一割負担撤回へ大きな運動がおこり、大津でも負担の軽減がはかられました。また、介護保険をよくする会などが中心になって運動し、介護用ベッドへの助成制度ができました。

杉浦 家計が苦しくなるなかで子育てに悩んでいるお母さんも多いんです。育児不安、仕事と子育ての両立、児童虐待など深刻ですね。子育てを応援するネットワークをしっかりとつくることと、妊婦健診への補助を増やしたり義務教育が終わるまで医療費無料化をはかるなど負担を軽くすること。待たずに入れるよう保育園を増やすことも切実です。

安心して住み続けられるまちづくりを

佐々木 まちづくりの問題も曲がり角にきていると思います。特にイオン・フィレオのような大型店開発、湖岸への歯止めのない高層建築、バス路線の廃止などまちこわしが進んでいます。安心して住み続けられるように、身近な商店街を守ることに、高さを抑えて景観や住環境を守るとともに、公共交通を充実

させるべきです。
岸本 旧志賀町では役場が木戸支所になって、事業系ゴミなどの手続きも市役所まで来ないといふなくなったり、通学費補助が半額に引き下げられるなど住民サービスの後退が本場に深刻です。住民の皆さんの要望で、湖西線の運休情報は防災無線を以前のように使うことになりましたが、大津市といっても地域ごとの特性がありますから、きめの細かいまちづくりが大切だと思います。

岸本 私も驚いたのは、議会として国などに出す意見書でも、共産党はどこの会派が提案しても市民のためになるものは賛成するの、大志会や公明・市民ネットなどは共産党の提案には何でも反対、市民の願いよりも共産党排除を優先させるのは議員として失格だと思う。
八木 だけど、今期は賛成する会派も出てきた。立場の違いを超えて市民の願い実現へ共同を広げて、市政を前に進めることが大切だと思います。さいごに今年特に重点に取り組みたいことを一言ずつ。

塚本 学校の耐震化など防災対策も大切だと思います。昨年は学校体育館の耐震化が大きく進みましたが、今後160棟余りの校舎の耐震化が控えている、今の市政は庁舎の移転新築をうちだしているけど、庁舎は免震改修で費用を抑えながら、学校の耐震化を急ぐべきですね。

杉浦 今年も子育てに関わる施策を充実させたい。特に児童クラブの整備・充実ががんばりたいと思います。
佐々木 後期高齢者医療制度が始まりますが、高齢者が安心して暮らせるように介護や医療の改善に取り組みたいと思います。

市民が主人公の立場で 議会と市政の改革を

石黒 議員になって、市民からの請願書などに何も理由を言わずに反対する議員が多いのに驚きました。共産党は市民の立場から必ず討論をしますが、与野党に関係なく、しっかりと議論をする議会に変えないといけないんじゃないかと思う。

石黒 引き続き障害者の福祉を充実させること、商店街など市街地活性化に力を入れます。
岸本 今実施している中学校給食を残して、全市で実現させるために皆さんと運動を広げていきたいと思えます。

岸本 私も驚いたのは、議会として国などに出す意見書でも、共産党はどこの会派が提案しても市民のためになるものは賛成するの、大志会や公明・市民ネットなどは共産党の提案には何でも反対、市民の願いよりも共産党排除を優先させるのは議員として失格だと思う。
八木 だけど、今期は賛成する会派も出てきた。立場の違いを超えて市民の願い実現へ共同を広げて、市政を前に進めることが大切だと思います。さいごに今年特に重点に取り組みたいことを一言ずつ。



市会の今がすっきりわかる新しくなりまし。市議団ホームページ

http://www.otsu-jcp.net/

暮らしを応援する大津市政へ切実な願い届けてがんばる

日本共産党大津市会議員団

すべての市営駐車場で障がい者割引を

石黒 かつ子市議

現在、7カ所ある市営駐車場のうち、障がい者割引が受けられるのは6カ所。無人化となっている膳所駅前駐車場では受けられず、他の6カ所でも半額割引、2時間分の割引と、その方法も様々です。



▲自動化された駐車場を見る石黒市議

石黒かつ子市議は、同じ市営駐車場なのに、利用する場所や管理する側の事情によって受けられるサービスが違うのはおかしい、どの駐車場でも割引制度を使えるように求めました。

市は、手帳の不正使用を防ぐことを最優先にしているため、難しいとの答弁でしたが、無人化が進むなか、今まで使えていた福祉施策を後退させるのかとの質問に、どの駐車場でも適応できるような統一的方法を考えたいと答弁しました。

建物の高さ規制と住民合意で古都大津の景観を守れ！

杉浦 とも子市議

この10年程、開発事業をめぐって市民から議会や大津市に対し、高層マンション建設反対、中止を求める署名や陳情・請願が数多く寄せられてきました。

杉浦市議は50年後、100年後の大津市を展望して、市民の願いに応じて、琵琶湖と緑の山並みの眺望景観が守られ、市民の住環境を守るまちづくりをすすめることが重要だとして、全市域に建築物の高さ規制と開発の際の住民合意のルールをつくることを求めました。



▲景観の実情調査をする杉浦市議

当局は現行の重要眺望点での景観誘導において一定の効果が上がっており、現行制度の中で周辺住民への説明会などの周知を図ることを業者に指導するというので今後すすめることと答えました。今後も市民とともにまちづくりをすすめるために、先進自治体で取り組まれている住民・事業者・行政の民主的なルールづくりに力を尽くします。

現在、7カ所ある市営駐車場のうち、障害者割引が受けられるのは6カ所。無人化となっ

ゴミ有料化やめて、減量・リサイクルの循環型社会へ

八木 修市議

八木修市議は、有料化して減量化した市で、①有料化によって、どうしてゴミが減ったのか？ 収集とは別に処理したのか？ 減ったゴミはどこへ行ったのか、教訓を生かして有料化せずに活用できないのか。とたどりました。

そして、有料化せずにゴミ減量を促進するために(1)分別回収を拡大してリサイクル率を高め、焼却ごみを大幅に減らすこと。(2)リターナブルピンの普及、リサイクルプラザの設置やリサイクル情報のいっそうの普及など、国の施策として要請すること。(3)清掃工場搬入時の点検強化など、事業系ごみ対策を抜本的に強化すること。(4)行政と市民との徹底した話し合いで、減量対策を推進すること。

(5)ごみ問題の大元、製造段階での発生抑制の制度化を政府に強く要求する、市民といっしょに国への運動に取り組む。

等を提案し、改善を求めましたが有料化先にあきりで、市民の立場に立った答えは回避しました。



▲クリーンセンターを視察する八木市議

子育て相談の支援と体制の強化を

岸本 のり子市議

核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化に、不安定な雇用、増税・社会福祉切り捨てが拍車をかけ、出産直後からの育児不安・虐待・障害・不登校などの相談は年々増加し、昨年度大津市に寄せられた相談は1万3千件を超えています。



▲子育て支援センターを視察する岸本市議

岸本のり子市議は、こうした相談に応える専門職員の支援体制の拡充や待遇改善、さらに、早期発見・対応のためにも市職員の通報の徹底をはかることを求めました。市は平成17年に1人増員をはかったこと、職員の通報の再度の周知徹底や必要に応じた強化に努めると答弁。未来を担う子ども達の成長を社会全体で支え、保障する取り組みが不可欠です。

安心できる介護制度の充実を

佐々木 しょういち市議

06年から介護保険法が改悪され、保険料は上がっているのに、特別養護老人ホームなどの施設は絶対的に不足し、在宅サービスの給付も制限されています。

コスト削減最優先の国の施策のもと、介護報酬の切り下げで利用者本位の介護事業は危機に瀕しています。超高齢化社会(人口の3割が65歳以上)を目前にして、高齢者福祉の充実が急務であり、財政難を理由とした切捨てを許されません。

佐々木市議は、同居家族が居る場合に訪問介護が制限される状況を改善することを求めました。また、在宅介護に欠かせない住宅改修での低所得者への支援制度の充実や、包括支援センターの直営での拡充などを求めました。市は必要な人の介護を確保すること、包括支援センターの充実を答弁しました。



▲ディサービスの様子を見る佐々木市議

庁舎建設よりも学校の耐震化推進を

つかもと 正弘市議

大津市では、3年前から庁舎の耐震診断など耐震化の検討を進めてきました。昨年度は庁舎のあり方検討会が「新築が適当」とする報告を出しました。しかし、市内の学校施設の耐震化は、今年度体育館の耐震化



▲庁舎問題を質問するつかもと市議

が進んだものの、5割をようやく超えたところでは。

つかもと正弘市議は、財政難といわれている今でも庁舎の浜大津への移転新築を進める考えなのか、200億円を超えと言われる学校施設の耐震化こそ優先して進めるべきではないかと質しました。市長は、耐震改修や移転新築などいろいろな方法があるとしましたが、重ねての追求に自分としては浜大津へ移転したいと答えました。

市民の願いにこたえる会派は？

12月議会では、切実な市民の願いが請願として議会に届けられました。日本共産党大津市議団は全ての請願に賛成、その実現に奮闘しました。自民・公明・民主系の会派は共産党が紹介した請願に反対、まともな理由も示さず否決しました。

件名	共産党	大志会	市民ネット	公明党	結の会	清正会	対話・柚
請願第9号 悪質商法被害をなくすための割賦販売法改正を求める意見書提出に関することについて	○	○	○	○	○	○	○
請願第10号 全国一斉学力テストの結果を公表しないことと来年度以降の不参加を求めることについて	○	×	×	×	×	×	○
請願第11号 大津市全域での中学校給食の実施を求めることについて	○	×	×	×	×	×	×
請願第12号 小口簡易資金の充実を求めることについて	○	×	×	×	×	×	×
請願第13号 消費税の増税に反対することについて	○	×	×	×	×	×	×
請願第14号 後期高齢者医療制度の4月実施中止・見直しを求める意見採択について	○	×	×	×	×	×	○